

# 平成28年度第10回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 平成28年9月27日（火） 17：21～19：13
- 2 場 所 1号館14階大会議室
- 3 出席者 <教育委員会>  
雪村教育長 森本委員 梶木委員 伊東委員 大塚委員 福田委員  
<事務局>  
林教育次長 岡田スポーツ担当局長 稜野総務部長  
川田指導部長 日下社会教育部長 後藤教育施策推進担当部長
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議内容

（雪村教育長）

ただいまより、教育委員会会議を始めます。

本日は、議案2件、協議事項2件及び報告事項5件です。このうち、教第35号議案、報告事項1及び報告事項2については、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により職員の人事に関する事。教第34号議案、協議事項7については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして非公開としたいと思いますが賛同いただけますでしょうか。

（6名の賛成により、非公開案件を決定）

（雪村教育長）

ありがとうございます。それでは、報告事項3、平成28年度神戸市スポーツ功労者表彰 被表彰者決定についてスポーツ体育課より説明をお願いします。

## **報告事項3** 平成28年度神戸市スポーツ功労者表彰 被表彰者決定について

（上田スポーツ体育課長）

今回、神戸市スポーツ功労者23名を11月28日に表彰しようとするものです。

23名の略歴は資料に添付してありますが、主に競技団体等からの推薦に基づいて、選考委員会を開いた上で決定しました。功労者表彰ということですので、年齢は45才以上の方が対象になっています。

以上です。

(雪村教育長)

この件について、いかがでしょうか。

(森本委員)

何人か名前を聞いたことがある方がおられますけれども、学校関係の方は何名くらいおられますか。中尾先生はそうですね。

(生野スポーツ体育課市民スポーツ係長)

把握している方で6名はおられます。市立学校関係者以外にも、8番の尾崎雅仁理事は北須磨高校、13番中村征士理事は明石の錦城高校の方です。ほかにも何名かおられて、小学校籍でいうと、1番小山正典さんは鶴甲小学校の方です。

(森本委員)

橋本秀一さんは元市会の先生ですか。

(上田スポーツ体育課長)

そうです。

(森本委員)

藤原匠さんは、ことし退職された校長先生ですね。

(岡田スポーツ担当局長)

そうです。

(森本委員)

いろいろな競技で活躍されていたのですね。

(雪村教育長)

特にほかございませんか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

ありがとうございます。

次に、報告事項4、神戸栄誉賞 被表彰者決定についてお願いします。

#### **報告事項4** 神戸栄誉賞 被表彰者決定について

(上田スポーツ体育課長)

神戸栄誉賞です。リオデジャネイロのオリンピック、パラリンピックで、3位入賞以上の方に対して、栄誉賞を贈ろうとするものです。

中村選手については、オリンピック水泳のシンクロナイズドスイミングチームで3位ということ、それから正木選手については、パラリンピック3位ということで、この両名を栄誉賞として表彰させていただきます。

ともに、神戸市ゆかりの方で、中村選手は東灘区出身ということ、それから、正木選手は育英高等学校卒業ということで、対象者になっています。なお、中村選手は、この栄誉賞に関して初受賞になりますが、正木選手は前回、2012年のロンドンパラリンピックで金メダルを獲得したときに、一度、神戸栄誉賞を受賞していて、今回2回目の受賞になります。

以上です。

(雪村教育長)

この件について、いかがでしょうか。

特段、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

ありがとうございます。

続いて、報告事項5、神戸市スポーツ特別賞 被表彰者決定についてお願いします。

#### **報告事項5** 神戸市スポーツ特別賞 被表彰者決定について

(上田スポーツ体育課長)

被表彰者及び該当事項というところです。長谷川穂積選手が世界ボクシング評議会のスーパーバンタム級タイトルマッチにおいて、王座を獲得したことについて表彰します。参考の4番の丸の二つ目にあるように、長谷川選手は2005年から世界バンタム級王座獲得を含めて、これまで4回、この賞を受賞されており、今回5回目の受賞になります。

以上です。

(雪村教育長)

この件について、いかがでしょうか。

受賞については、長谷川さんと調整できていますか。

(上田スポーツ体育課長)

調整済みです。

(雪村教育長)

35才になりましたけれども、すごい試合でしたね。いい試合でしたね。

それでは、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

ありがとうございます。

それでは、協議事項6、神戸市立工業高等専門学校の前期学事日程変更の試行実施についてお願いします。

## **協議事項6** 神戸市立工業高等専門学校の前期学事日程変更の試行実施について

(岸田工業高等専門学校事務室長)

協議事項6、神戸高専の前期学事日程変更の試行実施についてということで、協議事項として提案します。

説明については、若林教務主事からします。

(若林工業高等専門学校副校長)

現在、本校の学事日程は、前期、後期の2学期制をしいています。前期の途中で夏季休業があり、夏季休業の後、2週間ほど授業を行った後に前期の定期試験を実施しています。

平成29年度は、この前期学事日程について試行的に変更し、8月上旬まで前期の授業および定期試験を行い、その後、夏季休業としたいと考えています。なお、全国の高専のおよそ3分の2程度が、このような日程を実施しています。試行実施期間内に変更に伴う課題等を整理し解決した上で、平成31年度から本格実施することについて判断したいと考えています。

こういった変更に伴うメリットについて説明します。

まず、一番大きなメリットとしては学力向上です。現行日程では、夏季休業終了後に2回程度、授業を行い定期試験をすることになりますので、授業の継続性の面を考えて、先

生がそれぞれに授業計画に工夫しています。例えば、夏季休業後の授業を復習を中心に組むなどの工夫が必要ですが、夏季休業前に定期試験まで実施すれば、授業の継続性の点が改善され、教育効果が期待できると考えています。

もう一つは、夏季休業前に定期試験を実施することで、その時点で前期成績が確定しますので、前期成績を踏まえた課題の提供や後期授業に向けての準備など、学生に対して適切に指導できます。特に、成績不振の学生に対しては、夏季休業期間を利用して、前期科目の再評価や補講・補習等が実施できると考えています。

あと二つは、特に高学年の学生を意識したのですが、一つは、長期のインターンシップを実施できることです。4年生に「学外実習（インターンシップ）」という科目がありますが、これについて、8月中旬から9月下旬までを利用して、長期のインターンシップが可能になります。それから、高専生対象のものに加えて、大学生対象の、主に9月に実施されるインターンシップにも行けるようになり、学生の選択肢がふえると考えています。

続いて、もう一点として、研究環境の充実です。大学等の学事日程の関係で9月に開催される学会が多いのですが、特に学会参加の面で、教員が参加しやすくなることに加えて、本科5年生が参加できる機会が与えられると思っています。

逆に、デメリットとしては、7月下旬から8月上旬にかけてのクラブ活動に支障がある可能性があります。これについては、クラブ活動大会参加を公欠で対応し、また、試験に重なる場合は、追試験を実施するなどして対応したいと考えています。

試行及び本格実施に当たっての諸手続としては、まず学則第5条第2項により、教育長の承認を得て夏季休業日を変更し実施するという事で試行を行いたいと考えています。

学生・保護者に対しては、通知文書等で周知し、また、本格実施に当たっては、学則改正が必要になりますので、パブリックコメント等を考えたいと思っています。

本格実施の前年度には、受験生向けに入学入試案内等で周知する予定です。

今後のスケジュール案としては、来年度試行実施、平成30年度には翌31年度からの本格実施に向けて学則改正等の準備をしていく予定です。

説明は、以上です。

(雪村教育長)

試行実施について、いかがでしょうか。

(森本委員)

今回、試行実施を考えた主な理由はどんなことでしょうか。高専の中で議論が煮詰まったということもあるでしょうし、それから、周りの状況にも関係することだと思えますけれども、この時期に試行実施されようとする理由はどんなところにありますか。

(若林工業高等専門学校副校長)

国立高専には、従来のような学事日程を組んでいるところと、今回試行するいわゆる大学のような学事日程を組んでいるところと両方があります。他高専の先生方から情報収集した上で、校内でもいろいろな意見があるため、そのあたりを集約して最終的にメリットに上げている3点について、学校内で同意が得られましたので、まずは試行させていただきたいと思っています。

(森本委員)

前から、学内ではこういう議論がありましたか。

(若林工業高等専門学校副校長)

そうです。

(森本委員)

今回、踏み切られたのは、合意形成ができたからということですか。

(若林工業高等専門学校副校長)

個々には、いろいろな意見をお持ちですけれども、話をして、最終的に多数派は、こういった学事日程を試すことについて承認されています。

(福田委員)

大学では、こういう形がメジャーですね。現行方式では夏季休業を挟んで、また前期授業がある。やはり連続性を持たせたほうがいいです。ここに書いてあるメリットはあって、大学でも以前からこういう方向になっています。ですから、同じように高専も検討されていたと理解しています。メリットとして、ここに上がっているようなことは期待できると思います。

(梶木委員)

私も大学の日程に合わせることはメリットが多いと思いますけれども、後期日程については、大学だと1月ぐらいに授業が終わります。高専の場合は、学年末休業日などを見ると、終わりはどこになりますか。

(若林工業高等専門学校副校長)

現行では、2月下旬が後期の定期試験という形です。

(梶木委員)

前期のほうが短くなりませんか。一緒ぐらいになりますか。

(若林工業高等専門学校副校長)

同じです。

(梶木委員)

3月には授業はないのですか。

(若林工業高等専門学校副校長)

3月は、実質的に授業はないです。

(梶木委員)

教室にクーラーはついてますか。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

ホームルーム教室には全てついてます。

(梶木委員)

ついてないところがありますか。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

実験室などついていない部屋もありますので、順次、必要なところから整備しています。

(梶木委員)

恐らく、日程と空調設備がセットでないとしんどいですね。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

学生はですね。

(梶木委員)

学生もですし、ホームルーム教室にはあっても、せっかく授業をしているのに「暑くて勉強できない」となってしまうのはいけないし、試験期間がずれるということであれば必要だと思いました。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

試験に使うホームルーム教室には、全て空調が入っています。

(梶木委員)

ほかのところでも前から思っていますけれども、実は一番気になるのは、クラブ活動で休む子を公欠にするというのはどうかということです。あくまでも学業を優先であって、クラブは後かなと思いますけれども、クラブ優先ですか。

(若林工業高等専門学校副校長)

どの範囲の大会まで含むかですね。大会の大きさなどを考えて、どこで線を引くかということは、これから議論していかないといけないと思います。もちろん、今、梶木委員がおっしゃられたように、学業優先ということには変わりありませんので、その上でクラブ活動にも配慮しながらということになると思います。

(梶木委員)

クラブ活動を一生懸命やっている学生もいる学校でしょうから、なかなか難しいと思います。それでも、「後で、追試で対応するよ」と言ってしまうと、やはり「自分たちは」と選民意識みたいなものを持ってしまったりとか、「運動をしている子のほうがえらいんだ」みたいな意識づけになってしまったりするのではないですか。そうすると、なかなか先生方の対応も大変だと思いますので、そのあたりをきちんとルール化されるほうがいいと思います。中学校もそういうことがあったりします。クラブが優先される風潮をここでつくってしまうのはどうかと思います。

それから専攻科も、これで動いていきますか。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

これで動くことになります。

(伊東委員)

クラブのところについては、慎重に文言を選んで書いたほうがいいです。大学では恐らくだめですね。

(福田委員)

だめです。

(伊東委員)

文科省のルールで、大学で公欠としてクラブ活動に配慮するのはだめです。変えてしまうと少ししんどいかもかもしれませんので、学年のバランスを考えられて、文科省の大学のルールも見ていただいて検討してください。

(福田委員)

「考慮する」とか、そういう文言にしないと誤解を招きますね。

(伊東委員)

はい。大学では基本的に、クラブでの公欠は認めないです。

(梶木委員)

当然、試験優先だろうということですね。

だから、子供に公欠であると堂々と言うこと自体がどうかと思います。中学校ではどうなっていますか。

(林教育次長)

公欠になります。

(伊東委員)

高等学校でもですか。

(林教育次長)

高等学校も公欠です。

(森本委員)

一緒でしょうね。

(伊東委員)

その境目が少し難しいのかもしれないですね。

(梶木委員)

いろいろな学校がこういうふうに日程を動かしてきたら、みんなが困るから、大会の日程もずれたりしませんか。そんなことはないですか。

(雪村教育長)

例えば、市立高校で甲子園予選と重なるときがありますけれども、公欠にしていますか。

(林教育次長)

公欠です。

(雪村教育長)

高専も3年までは出場していますね。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

出ています。

(若林工業高等専門学校副校長)

それは公欠にしています。

(雪村教育長)

そうですか。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

試行するほうの学事日程が多くなってきていますので、高専の大会はどちらかということこちらにシフトしてきています。ただ3年以下の高校の大会は、どうしても重なってきます。

(梶木委員)

一生懸命やっている子に配慮することも大事だと思いますけれども、学校は勉強することが一番だと思います。

(森本委員)

同じようなことを申し上げますけれども、高専がクラブ活動についての指導助言を事務局に求められているのかが不明です。こういうことについて専門とするスポーツ体育課がありますので、その指導主事や市立高校の様子も含めて助言を求められているのか、「こうしたいので了承をお願いする」と言われているのかわかりません。

これは報告事項ではなくて、協議事項ですから、きっと指導助言を仰いでおられると思います。我々は予備知識がないままに、細かな知識に基づかず、物を言っています。だから、今回であれば、スポーツ体育課という専門部署があるので「公欠の取り扱いはどうか」と事前に問い合わせ、前もって調整して、文言はどうかということをこなしてから、報告、協議したほうがいいのではないかと思います。

それから、3年生までの学生の扱いと、4年、5年の学生の扱いは違うと思います。そのあたりをどうするかということを、この会議の短い時間でお答えするのはどうなのかと思います。

だから、もし指導助言を求められるのなら、担当部署がそれぞれありますので、そこで調整されてから協議に臨まれたほうがいいのではないかと思います。

(梶木委員)

試行してどうだったか、また報告していただけますか。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

平成29年度に試行した後、平成30年度には学則改正やパブコメも手続的に必要になりますので、その前に教育委員会会議で報告させていただいて進めていくことになります。

(梶木委員)

デメリットのほうが少ない感じがするので、うまくいくようにルール決めしていただけたらいいと思います。

(福田委員)

ついでもすけれども、私が前に勤めていた神戸大学は4学期制に変更しています。まだこの次の先の話ですけれども、クォーター制です。それにはいろいろなメリットがあって採用しましたけれども、クォーター制に変えるときに、この制度でなかったら変わりにくいです。だから、前もって次のことを考えたらこう変えておいたほうがいいと私は思います。4学期制のいいところについては、いずれまた先生方が議論されると思います。先を考えたら、早目にこう変えておいたほうがいいと私は思っています。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

ありがとうございます。

(雪村教育長)

そのほか、特によろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

この件については、おおむね了解ということだけれども、先ほどのクラブ活動の取り扱いについて表現をどうするか。「考慮する」、「配慮する」、またはこれ以外なのか。そのあたりについては、スポーツ体育課や関係部署と詰めてください。

(岸田工業高等専門学校事務室長)

はい。

(雪村教育長)

それでよろしいですか。

(6名の賛成により方向性を決定)

(雪村教育長)

ありがとうございます。

それでは、主要行事予定について総務課より説明してください。

### **その他報告事項** 主要行事予定

(豊永総務課長)

9月6日以降の主要行事については、記載のとおりとなっています。

今後の主要行事予定ですが、9月30日から10月21日までの間、学校園の運動会・体育会・体育大会があります。

それから、10月14日は蓮池小学校で近畿小学校社会科研究協議会兵庫大会があります。

それから、16日(日)は、中央体育館で高専ロボコン近畿地区大会が開催されます。

26日は、ポートアイランドホールであつまれこうべっこがあります。

27日は、全市教頭研修で、教育委員講話を森本先生にお願いしています。

それから、次回の教育委員会会議は、10月11日13時15分から定例会を予定しています。

以上です。よろしく申し上げます。

(雪村教育長)

確認とか、追加とかありますか。

(森本委員)

追加があります。中学校の体育会、駒ヶ林中学校と竜が台中学校の2校に参加しました。

(豊永総務課長)

ありがとうございます。

(雪村教育長)

この前の土曜日、小学校に行ってきましたけれども、これは資料に間に合っていないですか。参考までに、南落合小学校と横尾小学校に行ってきました。

そのほか、特にありませんか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

そうしたら、そのほか教育委員の皆さんから委員会会議で取り上げるべき項目について意見はありませんか。

何かありましたら、後日でも結構ですので、事務局までお伝えいただきたいと思います。

**閉会：午後7時13分**